2024年10月31日

~科学的介護の第一歩~ イベント入力機能の活用による アセスメントとは?

EcoNaviSta

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階 TEL:050-5526-3869 ゔ
→
ライフリズムナビ + Dr
→

専門医が考えたSaaS型高齢者見守りシステムで 介護・医療現場のお悩みを解決します。





このセミナーは、ライフリズムナビVer2.0の画面で操作方法などをご紹介する内容となっております。 Ver1.0の方は、Ver2.0へアップデートすることで、機能をご利用いただけます。 Ver2.0へのアップデートご希望の方は、施設管理者様より弊社サポートまでご連絡ください。











- 01. データの活用方法と課題
- 02. イベント入力機能とは?
- 03. イベント入力機能の活用方法
- 04. 対象者を選定する
- 05. 質疑応答

ライフリズムナビをどのようご利用されていますか?

データ活用における課題と解決策

データ活用における課題と解決策

づけることで 見えた! りハビリや 外出の日は眠 れている!

ケア記録と紐

嫌いな入浴が あった日は覚 醒している!

そんなデータを見やすくするために イベント入力機能を活用することが重要です!

ライフリズムナビデータを活用したPDCAサイクル

ライフリズムナビのデータを参考に 客観的な情報にアセスメントやケアの評価に繋がります。

ライフリズムナビデータを活用したPDCAサイクル

生活リズムを把握するポイントについては、 過去のセミナーで解説をしています!

おすすめの過去セミナー

以前開催したデータ分析入門セミナーを合わせて見ていただくと より理解しやすいので、ぜひご覧ください!

■過去セミナー動画の見方

サポートより「動画で学ぶ」を選択。

1		
セミナー動画		

	- F	
(みライフリズムナビー・Dr.		
よくあるトラブルこれで解決!	基本提作セミナー	
F97/091-Fmild CE7-		
【よくあるトラブルこれで解決!】ト	基本操作説明セミナー(使い始めの方	
ラブルシュート解説セミナー	向け)	
2024年7月18日に開催した、【よくあるトラ ブルこれで解決!】トラブルシュート解説セ	2024年4月4日に開催した、ライフリズムナ ビ基本操作説明セミナーの様子をお届けしま	
ミナーの様子をお届けします。 © 2024年7月29日	事。 ① 2023年11月14日	
アラート設定方法		
@ライフリズムナビ.+Dr	⊕ ライフリズムナビ +Dr	@=1797678.+Dr
ペッドセンサーに開する	アラート設定方法解説セミナー	アラート設定方法解説セミナー (人類センサー解)

「動画で学ぶ」ページでは過去に開催した セミナーの見逃し配信が多数アップされてい ます!

02. イベント入力機能とは?

イベント入力機能の概要

グラフデータ上に、排泄や服薬などの情報のスタンプを入力できる機能です。センサーだけ では取得できないケア記録の情報を追加することで、「科学的介護」の実践に繋がります。

入力できるイベントアイコンの種類

イベントの種類は現在**21種類**。様々なイベント情報をライフリズムナビに登録することができます。

服薬の効果測定、排泄と睡眠との因果関係 など、どのような情報が欲しいかに合わせ て入力をしてみましょう。

表示するイベントアイコンを設定する

「イベント」を押すとアイコンの表示/非表示 を選択することができます。

チェックがついていないイベントアイコン は非表示になり、チェックをつけたイベン トアイコンのみ表示されます。

イベントの入力方法①グラフ上で入力する

設定したい日付の『過去データ』グラフを クリックし、『イベントを新規登録』ダイ アログを表示します。

「日付」と「イベント項目」を入力し保存を 選択することで入力ができます。

イベントの入力方法②入力ボタンから入力する

ご入居者詳細画面で「+ボタン」を選択し、 『イベントを新規登録』ダイアログを表示 します。

「日付」と「イベント項目」を入力し保存 を選択することで入力ができます。

イベントの入力方法③直近24時間から入力する

「直近24時間」 を選択すると、施設内の全 居室について、現在時刻から直近24時間のグ ラフが表示されます。

設定したい方の『過去データ』グラフをク リックし、イベントを新規登録ができます。

02. イベント入力機能とは?

イベントに詳細情報・コメントを残す

○ 通常食	〇 一口食	○ きざみ食	○ ソフト食
○ 流動食			
R HE			
食べていない			完食
0 1 2			8 9 10
		/	10
IR (ER			
Merchan	00	000	AR O
0 1 2	3 4	5 6 7	8 9 10
(分量 任意			
100 cc			
助任意			
○ 全介助	○ 一部介助	〇 見守り	〇 自立
メント 任意			
「入れ歯の調子	「が悪い」とおっ	しゃられた。固飛	物がうまく噛めな

イベントアイコンごとに、詳細情報やコメ ントを残すことができます。

36/120

過去データ、1日の詳細画面に表示される イベントアイコンにカーソルを当てると、 入力情報・コメントを確認できます。

02. イベント入力機能とは?

スマホで隙間時間に簡単入力

PCだけではなく、スマホで入力可能! 移動中など、隙間時間で簡単入力できます。

当日の過去データは「データ集計中…」 と表示されていてもイベント入力が可能です。

排泄リズムを把握する

イベント入力機能の「排泄 小」を活用 して、ご入居者の排泄を記録可能!

ご入居者の排泄リズムや傾向を把握し、 排泄ケアの見直しに繋がります。

服薬(眠剤、下剤等)の効果を確認する

イベント入力機能の「投薬 眠剤」を 活用して、投薬を記録可能!

入床後「睡眠」となっているが、その後 「在床および体動」が多いことがわかります。

服薬(眠剤、下剤等)の効果を確認する

睡眠薬等の効果を客観的にみることができ、医療職と共有して服薬調整など適切な支援に繋げ ることができます。

転倒や事故の傾向を把握

イベント入力機能の「事故」を活用して、 転倒転落を記録可能!

時間や、頻度などから転倒の可能性予測に活用し たり、生活リズムを把握し、転倒の予防ケアに繋 げることができます。

イベントと睡眠の因果関係を確認する例

日中活動の「**外出」**や、ご家族との「**面会」**などご入居者に刺激があった日の例です。 発言や様子の記録が、不眠へのアプローチを検討する上で重要な指標となります。

疲労で睡眠の変化を確認する例

好きなものや、得意なことは何か?などナラティブ・ベイスド・ケアの実践の振り返りに活 用できます。

入力有無によるデータの違い 10.0 5/12/00 9.8 3/12 (4) 3/13 (%) 11.4 3/13 ok) 3/14 (木) 9.4 3/14 (木) 3/15 (余) 8.1 3/15 (金) 3/16 (t) 3/16 (±) 11.7 3/17(日) 9.0 3/17 (日) 3/18 (月) 12.1 3/18 (月) 3/19 (k) 9.5 3/19 (%) 3/20 0% 9.7 3/21 (3/20 (rk) 3/21 (木) 9.7 3/22 (1 ш 3/22 (金) 10.1 3/23 (3/23 (t) 8.5 3/24 (8.6 3/25 0 3/24 (日) 3/25 (月) 10.6 3/26 (9.5 3/26 (%) 3/27 (3/27 (rk) 10.7 3/28 (3/28 (木) 114 3/29 (3/29 (余) 10.1 3/30 (10.6 3/30 (t) 3/31 (3/31 (日) 10.2 4/1 0 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ライフリズムナビのデータを見るだけ では得られる情報に限りがあります。

03. イベント入力機能活用事例の紹介

疥癬(かいせん)を発見した事例のグラフ

イベント入力を行い、夜間の状況を確認すると、全身のかゆみにより起きだすことが多いことが判明。皮膚科への受診を検討することとなる。

疥癬を発見した事例のグラフ

受診の結果、疥癬の診断があり、内服薬と塗布薬の処方があり治療を開始。

治療を開始したことで、かゆみが改善傾向となり、まとまった睡眠時間が取れるようになる。

EcoNaviSta

イベント入力に取り組む対象者を選定してみよう

皆さんの思い浮かぶ対象者はどのような方でしょうか?

対象者の例

まずは・・・

- ・転倒事故を繰り返している方
- ・おむついじりをして失禁してしまう
- ・昼夜逆転して「眠れない」と訴えがある方 ・新規入居された方
- ・普段となんとなく様子が変わった方 など

データを分析する対象の方を ピックアップしてみましょう!

全員ではなく数名に入力をする

・職員の負担増加 ・入力する時間がない ・操作方法の浸透が難しい

全員ではなく数名に入力をする

502 入居者502 様
● 60 %
🖉 37.1℃ 🦾 152/98職 🍥 90%
食事量低下(欠食增) • 9/19
◆ 転落

イベント入力機能を使ってみよう

イベント入力機能を効果的に活用するためのアクション

定例会開催のご案内

データの見方がわからない・・

複数の目で見ることで、新たな視点が生まれる! データを見る場を持つことが重要です。 (事故防止委員会/ケアカンファレンス など)

05. 質疑応答

質問がある方は お気軽にどうぞ!

本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営:エコナビスタ株式会社 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階 TEL:050-5526-3869